

第二回 荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：紫苑

【日時】

8月19日(木) 19:00~21:30

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ2：荒川の良い点・悪い点を話し合う

【場所】

荒川区役所 庁議室

ステップ3：こうなって欲しいまちの姿と課題を話し合おう

ステップ4：今日の話し合いの結果の確認

ステップ1：はじめに

【前回の話し合いの内容確認】

- ・ コンサルタントにより、前回の話の内容確認、議事録の確認がなされた。

【諸連絡】

- ・ 議事録(写真あり)は、ホームページにて公開されることが確認された。

【自己紹介】

前回は欠席された方から、自己紹介がなされた。

ステップ2：荒川の良い点・悪い点を話し合う

荒川区の良い点、悪い点については、既に提出している申込書に各自記入してあるので、後で一覧表を整理してもらうこととし、ステップ3へ進むこととした。

ステップ3：こうなって欲しいまちの姿と課題を話し合おう

自由に一人一人、今思っていることを発表することとした。

【産業】

- ・ 荒川区は住工混在とならざるを得ない。
- ・ いろいろな規制の条例(物流・交通・騒音など)ができていの中で、工場は周りの住民に迷惑をかけているのではないかと懸念してしまう。
- ・ 荒川区は下水処理が発達していて、製造業には働きやすい場所である。
- ・ 荒川区はメッキ、テフロン、アルミといった表面処理工場などが集積していて、町屋で幅広い製品加工ができる。このような環境は他の区にはない。
- ・ 産業がなければ人は集まらない。荒川区の産業に魅力があれば自然と産業は集まり、活性化してくる。今ある産業を大切にしながら、それに関連した産業を呼べるようにしたい。

- ・ 他県への移動・廃業などによって、荒川区の事業所は減少している。新しい地場産業を作り出し、産業の回復を図ることが必要ではないか。
- ・ 大田区は製造業同士のネットワークが発達しているため、どのような依頼でも対処できる技術力がある。荒川区も商工会議所のようなネットワークを充実させる必要がある。航空工専など高度な技術を有する研究機関との連携も進める必要がある。



【自然環境】

- ・ 将来を見据えて、自然が豊かで全国的に有名な尾久の原公園を荒川の財産として大切にしてほしい(安易に開発等をしないでほしい)。その大切さに区が気付いていないのではないか。区民の力と区の力の両方が必要。
- ・ 製造業と環境問題で折り合いがつけられる状況を作り出したい。一度よい環境を壊したら修復するのに相当の年月がかかってしまうので慎重に行う必要がある。

【生活環境・防災・交通】

- ・ 荒川区は、隣近所とのつきあいはすばらしい。安心できるし、住みやすい。これは残していきたい。
- ・ 誇りある町会を作り、防災・福祉等で効率よく、連動できる組織を作りたい。
- ・ 超高層マンションが最近増えている。防災面やまちなみを考えると、制限をつけた方がよい。
- ・ 防災に関して、最悪の場合の対応策(ハザードマップなど)等の情報を区民にわかるように示してほしい。
- ・ 荒川は放置自転車が多い。交通マナーも悪い。例えば一時停止をしない人が多いなど。
- ・ 荒川は踏み切りが少ない。また、交通網が恵まれているので、荒川区内の観光資源等の整備をし、人が回遊できるまちとすべき。
- ・ 街があまりきれいではないので、ポイ捨ての標記・ごみ箱の設置を増やす等の美しい街のための対策をした方がよい。
- ・ 空き地、廃校利用など、空間をもっと有効に活用してほしい。
- ・ 遊びができる自然環境を残すべき。
- ・ 荒川遊園地をもっと期待がもてるような施設にしてほしい。今は幼児対象の施設というイメージだが、もっと他の人を呼べるようにしてほしい。

【福祉・教育】

- ・ 養護学級と養護学校の選択の基準がわかりづらい。判断が難しい面もあるが、障がい者の立場に立ってほしい。
- ・ 学校などでは、健常者と障がい者の融合はうまく行っていると思う。
- ・ 高齢者の施設は多いが、中学生に対する施設(遊び場)がない。小学校の開放校庭は、中学生は使えないなどの規制があるがどうかにならないか。
- ・ 学校はハード面で格差が大きい。
- ・ 高齢者が生き生きとリードできるまちとなってほしい。元気ある高齢者がリードする社会を創りたい。また、元気な高齢者が多いので、高齢者向けの雇用対策をしてほしい。
- ・ あさひ電化跡地は樹木を植えて、子供が思いっきり遊びができる自然の森を作ってほしい。また、森を作るなら、成長を考えて、木の植え方等も考えるべき。
- ・ 川がある街、静がある街、子供を安心して育てられる街を作ってほしい。
- ・ 結婚して、安心して子育てする環境づくりをしてほしい。
- ・ ニートやマナーの悪さの問題に対する対策が必要ではないか。
- ・ 歴史を勉強しようと思って知る手だてがあまりない。

【区のあり方等】

- ・ 行政は法令遵守で決まりを押しつけるのではなく、住民の立場に立って柔軟に対応してほしい。
- ・ 役所は目先だけの対応が多く無責任だと思う(例えば育成に時間がかかる木をすぐに切ったりする)。区のやったことの成果や効果をみていくべき。
- ・ 区はもっとコーディネートしたりや情報等を発信してほしい。
- ・ 区議会の傍聴に行くが、平日の昼間なので、傍聴している人はほとんどいない。例えば土曜日に開催する等柔軟に対応すれば、住民の声をもっとよく聞くこともできるのではないか。
- ・ 区はもっと障がい者の目線で物事を考えてほしい。

【その他】

- ・ ケーブルテレビをみても、荒川区の宣伝はどろくさいところがある。

ステップ4：その他

【まとめ】

参加者から他グループの懇談会の報告書を見たいとの意見が寄せられたので、次回までに用意することとした。

【次回について】

次回は、出された意見を基に、もっと踏み込んだ話し合いをすることとした。

日程は9月20日の19時より

以上